

Topic 1 展示場リニューアルを加速 53期18店実施

全国各地で展示場のリニューアルに力をいれております。お客様の多様なニーズに合わせて製品をご検討いただくために、従来型の展示場だけでなく、本建築を専門とした「総合展示場」や、中古製品を専門とした「中古専門店」など、新たなコンセプトの店舗づくりを進めております。53期は計18店舗の新規出店・リニューアルを実施いたしました。一部の展示場では展示品をレンタルスペースとして貸し出ししており、購入をご検討中の方は無料で実物に滞在し、納得した上でご購入いただくことが可能です。

またリニューアルに伴い、個別の展示場がご覧いただける専用WEBページを作成し、展示品のご紹介や360°VRなど

の機能を充実させました。その結果、WEBページをご覧になったお客様が遠方からも足を運んでくださり、総合展示場のご来場者数はリニューアル前と比べて平均約4倍と大きく増加し、顧客層の拡大にもつながっております。

さらに新たな試みとして、千葉総合展示場をはじめとした一部のリニューアル店舗を、どなたでも気軽に訪れて滞在できる「公園のような展示場」をコンセプトとして設計するなど、従来の展示場を進化させた店舗づくりにも取り組んでおります。今後も積極的に展示場のリニューアルを行い、さらなる集客やモバイルスペースの魅力伝達を強化してまいります。



千葉総合展示場 (千葉県)



川崎総合展示場 (神奈川県)



小山展示場 (栃木県)

お客様の声



イメージしていたユニットハウスの展示場とは違い、とてもきれいでお洒落な雰囲気でした。(30代男性)



清潔感があり、展示されているユニットハウスはとてもオシャレで、見ていて楽しくなりました。(40代女性)



実際の建物を拝見することができ、具体的なイメージができたのでとても参考になりました。(40代男性)



ユニットハウスがいろいろな用途で利用できる事がわかりました。(50代女性)



今の時代に合っているデザインでいいなと思いました。(30代女性)



開放感があり、入場しやすい雰囲気でした。展示バリエーションも各種用途を想定しており、参考になりました。(50代男性)



ユニットハウスのイメージが変わりました。(50代男性)



リアリティーのある間取りの展示場だったので、興味を惹かれました。(30代男性)

Topic 2 3階建て「MS LAB」竣工

2022年1月、自社施設「MS CAMPUS」(エムエス・キャンパス)に新しいオフィス「MS LAB」(エムエス・ラボ)が完成しました。

躯体には「MS1」を採用し、78棟のユニットで構成され、延べ床面積約1,300㎡、収容人数約90名の大空間を実現しております。

MS LABのプロジェクトでは、MS1の価値や性能、機能を見直し、またコロナ禍におけるオフィスの在り方や働き方を考え、ハードとソフトの大きく2つの側面からテーマを設定しました。

ハード面ではモバイルスペースの構造から見直しを行っています。建物全体でモデル化、構造計算を行い、シミュレーションと試験を繰り返し検討することによって、折りたたみ機能を残したまま3階建てにも十分な構造性能を確立しました。また、移設・増減築・間取り変更が可能なモバイルスペースの価値を最大限に発揮するため、内外装・設備・家具も、モバイルスペースのモジュールに合わせて部材を設計・開発・工業化し、変化可能なオフィスを実現しました。

ソフト面では「組織・個人の学習・成長を促すオフィスの設計」をテーマに掲げ、SECIモデルと呼ばれる組織的知識創造理論をプランニングに導入しています。SECIモデルを基に、偶発的なコミュニケーションを促すようなフリーアドレス席や開放的なリフレッシュエリア、ホワイトボードやブロックを使いながらアイデア出しやディスカッションができるスペース、自分の仕事に集中できる個室やブースなど、様々なスペースを設けました。コミュニケーションと内省によって暗黙知と形式知の変換を促し、社員同士の知識を共有することで、組織・個人の学習・成長を加速させるオフィスを実現しました。

今回のMS LABやMS CAMPUSでの取り組みは、自社施設としてだけでなく研究開発の場として、モバイルスペースの新たなオプション化や用途提案のノウハウに繋げていき、世の中に発信していきたいと考えております。



MS LAB 外観



MS LAB 外観



2階執務室



3階執務室